☆☆ 新型コロナウイルス感染症ニュース 第83号 2021.9.06 ☆☆

9月に入り新型コロナウイルス感染症の新規発症患者数はやや減少傾向にありますが、市内病院の受け入れ病床の逼迫した状況は続いており、学校再開後早々に休校などの情報もあり、まだまだ予断を許さない状況です。

仙台市における新型コロナウイルスワクチン接種の現状

9月1日17時の時点での VRS 登録数値です。

・一般接種(医療従事者等は含まない)866,421回(接種対象者数965,687人)(81,396増)

(うち1回目が491,534回、2回目が374,887回)

・上記のうち65歳以上の高齢者

461, 125 回 (接種対象者数 271, 562 人) (4, 957 增)

(うち1回目が232,604回、2回目が228,521回)

以下は、V-SYS登録数値による参考情報です。

・医療従事者等(高齢者施設等従事者を含む) 176,857回

(うち1回目が95,169回、2回目が81,688回)

(8月4日時点)

市内職域接種会場での接種状況

203,751回(会場は25ヵ所)

(うち1回目が127,532回、2回目が76,219回)

(9月1日時点)

上記 VRS 登録実績によれば、仙台市では高齢者の約84%が2回接種完了、全市民の51%が少なくとも1回の接種を受けられていることになります。

国からのワクチンの供給が滞っており、個別接種医療機関でも思うように接種がすすめられない状況です。9月3日現在、国から示されているワクチンの供給量については、14-2クール(10箱11,700回分 配送9/20週~)が8月末に追加されたうえで、15クール(配送9月末~)までが明らかとなっており、累計で約107万回分となる予定です。これは接種対象者全体の60%弱に相当する分です。国としては、個別・集団接種で使用しているファイザーと大規模・職域接種で使用しているモデルナを合わせて、9月末までに12歳以上人口の8割に2回接種するために必要な量を配分する計画とされておりますが、10月以降の供給については相変わらず示されておりません。

一方現場の状況は、まだまだ接種を希望されながら予約が取れていないという市民の方がたくさんいる状態と認識しております。現在9月3日締め切りで送らせていただいた、「10月4日以降の個別接種への協力可否について」のアンケートを集計中ですが、10月以降インフルエンザの予防接種も始まる影響か、個別接種可能の数は若干ですが減少しているようです。

国から確定されている供給量と在庫の範囲内でどの程度個別接種医療機関へお届けできるのか、仙台市と協議の上で近日中改めてお示しいたします。 (CVPT 福壽岳雄)

三師会合同による新型コロナワクチンの平日夜間集団接種について

9月1日よりTKPガーデンシティPREMIUM仙台西口で本格的に始まりました。当日は郡市長をはじめ三師会の各会長の視察、各種メディアの取材もありました。医師会員による問診、薬剤師会員による充てん、歯科医師会員による接種と連携もスムーズで、特に歯科医師会の皆さまの接種手技も的確であり、ほぼ予定した時刻には予約された市民の方々の接種がすべて無事終了いたしました。ご協力いただきました皆さまに深く感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。 (CVPT 枝 幸基)

新型コロナウイルスワクチン個別接種促進のための財政支援事業量調査について

仙台市新型コロナウイルスワクチン接種推進室より、接種医療機関へメールにて通知(8月19日付)が送られております。宮城県への提出期限は今月9月10日となっておりますので、ご注意願います。

ニュース部、ワクチン担当チームより (83 号担当 福壽岳雄)

新型コロナウイルス感染症患者さんに対して、医師会で今できることはワクチン接種推進と在宅、宿泊療養の患者さんに対する医療、高齢者施設や学校への保健協力になると思います。会員の先生方一人一人の「今できること」のご協力が大切です。ワクチンの供給も滞る困難な状況ですが何とかこの局面を乗り切りたいと思います。

仙台市医師会へのご意見・ご質問等はFAX、メールでお願いいたします。

FAX: 022-267-5193 メール: sen-ishi@sendai.miyagi.med.or.jp